

詰り暴行ヲ加ヘタルヲ以テ之レヲ檢束シ尙可
分ニ附シタリ (川又二十九日、梅田二十日)

二、会社側

会社ハ既報ノ如ク同業者ニ仕事ヲ分配依頼シ二十一日ヨリ臨時休業中ナリシガ昨二十五日ヨリ作業ヲ開始スルコト、シ其ノ旨全従業員ニ通知シタル所生出勤職工五四名有リタル外ニ、三日中ニ出勤就業スル旨通知致シタル者ニ三名アリ

右及申(通)報候也

別記 正体を暴露した温情主義

中屋印刷の半議白熱化する!!

勝敗を決するは諸君の力だ!
全労働者階級の應援を待つ!

工場懇話会会長及び東京印刷同業組合の副会長たる鈴木公平の経営せる東京市外大井町中屋印刷所は吾等従業員ヲ援出せる

- 一、労働時間を一時間短縮せられたし
- 二、賃金を二割増給せられたし

の嘆願を十九日拒絶して来た。吾等は再三の考慮を求め五の等々正者なる嘆願の容れられん事を求めたが横暴なる鈴木公平は経営困難を口実に「三十分は短縮す」と不誠意極まる回答とどうでも勝手にしろと言ふ態度を取り廿日挑戦して来たのである。

あまつさへ廿一日には官憲の力を擁してる數十余名を掃出を食せた。吾等は直ちに労働団本部に集合してあくまで勝利する迄戦ふことを決議した。やある。如何に会社側が頑強たりといへども吾等の要求の公平な事を信するが故に断じて居しない。五年も七年も勤めて二月三、三十日七才にもなつた一人前の職工が一月五千円後から一月八千円位でけどうしても吾等は戦つて勝たねならぬ。